

児童らに英語指導

神田外語大生、天栄を訪問

千葉市の神田外語大は四、五の両日、天栄村の天栄幼稚園と小学校四校で英語教育のボランティア活動を行った。子どもたちが英語に親しんだ。



英語で道案内する6年生＝広戸小

同大は東日本大震災の復興支援として、平成二十三年から本県で英語指導ボランティアを展開している。系列グループの英語研修施設「プリティッシュヒルズ」が同村にあることから同村で初めて企画した。天栄幼稚園と広戸、大里、牧本、湯本の各小学校を訪問した。広戸小では一年生か

ら六年生まで百十六人を対象に、大学生十七人と引率の教授が学年ごとに英語の授業を行

った。一、二年生は食べ物カード、三、四年生はカルタゲーム、五年生はビンゴゲーム、六年生は地図を使った道案内などを通して、楽しみながら英語を学んだ。

同大は一日から三日まで三春町の三春、御木沢の両小学校でも英語指導を行った。

児童と園児ら 英語体験授業

天栄村と神田外語大連携

英語活動の充実を目的とした「英語の村てんえい」に取り組む天栄村と、神田外語大は4、5の両日、同村の幼稚園や小学校で英語



英語を使った道案内ゲームに挑戦する児童ら

の体験授業を行った。今年で4年目を迎える同大の東日本大震災復興支援プロジェクトの一環。同大の3、4年生17人が学生ボランティアとして参加した。

4日に同村の広戸小で行われた授業では「福島を好きになってもらおう」をテーマに、1～4年生が本県の名産品や果物を題材にした英語体験、5年生がインタビュー体験、6年生は英語で道案内をするゲームを行った。児童らは学生から丁寧な指導を受け、学んだ英語を駆使して楽しく授業

に取り組んでいた。同村は、今回の事業と同村のプリティッシュヒルズでの異文化体験事業を「英語の村てんえい」の取り組みの中心として英語環境の充実を図っていく方針。1～3日には三春町の御木沢小、三春小でも同大の学生ボランティアによる英語授業が行われた。